

10/516310

DT05 R PCT/PTO 10 DEC 2004

DOCKET NO.: 263132US90XPCT

IN THE UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE

IN RE APPLICATION OF: Ken SAKAMURA et al.

SERIAL NO.: NEW U.S. PCT APPLICATION

FILED: HEREWITH

INTERNATIONAL APPLICATION NO.: PCT/JP03/07277

INTERNATIONAL FILING DATE: June 9, 2003

FOR: IC CHIP, CARD AND MOBILE TERMINAL CONNECTED TO THE SAME

REQUEST FOR PRIORITY UNDER 35 U.S.C. 119
AND THE INTERNATIONAL CONVENTION

Commissioner for Patents
Alexandria, Virginia 22313

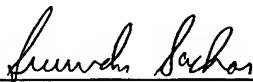
Sir:

In the matter of the above-identified application for patent, notice is hereby given that the applicant claims as priority:

<u>COUNTRY</u>	<u>APPLICATION NO</u>	<u>DAY/MONTH/YEAR</u>
Japan	2002-169337	10 June 2002

Certified copies of the corresponding Convention application(s) were submitted to the International Bureau in PCT Application No. PCT/JP03/07277.

Respectfully submitted,
OBLON, SPIVAK, McCLELLAND,
MAIER & NEUSTADT, P.C.



Masayasu Mori
Attorney of Record
Registration No. 47,301
Surinder Sachar
Registration No. 34,423

Customer Number

22850

(703) 413-3000
Fax No. (703) 413-2220
(OSMMN 08/03)

10 / 516310
PCT/JP03/07277

日本国特許庁
JAPAN PATENT OFFICE

10 DEC 2004
10 DEC 2004

09.06.03

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されて
いる事項と同一であることを証明する。

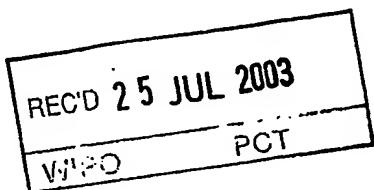
This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed
with this Office.

出願年月日
Date of Application: 2002年 6月10日

出願番号
Application Number: 特願2002-169337

[ST. 10/C]: [JP2002-169337]

出願人
Applicant(s): 坂村 健
越塚 登
株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモ

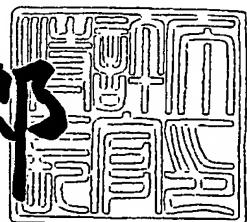


PRIORITY DOCUMENT
SUBMITTED OR TRANSMITTED IN
COMPLIANCE WITH
RULE 17.1(a) OR (b)

2003年 7月 9日

特許庁長官
Commissioner,
Japan Patent Office

太田信一郎



【書類名】 特許願

【整理番号】 ND13-0662

【提出日】 平成14年 6月10日

【あて先】 特許庁長官 及川 耕造 殿

【国際特許分類】 G06K 19/00

【発明者】

【住所又は居所】 東京都品川区大崎 4-9-2

【氏名】 坂村 健

【発明者】

【住所又は居所】 東京都武蔵野市西久保 2-27-20

【氏名】 越塚 登

【発明者】

【住所又は居所】 東京都千代田区永田町二丁目 11番1号 株式会社エヌ
・ティ・ティ・ドコモ内

【氏名】 森 謙作

【発明者】

【住所又は居所】 東京都千代田区永田町二丁目 11番1号 株式会社エヌ
・ティ・ティ・ドコモ内

【氏名】 石井 一彦

【発明者】

【住所又は居所】 東京都千代田区永田町二丁目 11番1号 株式会社エヌ
・ティ・ティ・ドコモ内

【氏名】 青野 博

【発明者】

【住所又は居所】 東京都千代田区永田町二丁目 11番1号 株式会社エヌ
・ティ・ティ・ドコモ内

【氏名】 本郷 節之

【特許出願人】

【識別番号】 592146793

【氏名又は名称】 坂村 健

【特許出願人】

【住所又は居所】 東京都武藏野市西久保2-27-20

【氏名又は名称】 越塚 登

【特許出願人】

【識別番号】 392026693

【氏名又は名称】 株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモ

【代理人】

【識別番号】 100070150

【弁理士】

【氏名又は名称】 伊東 忠彦

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 002989

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 ICチップならびにそれに接続するカードおよび携帯端末装置

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 ICチップであって：

CPU；

該CPUと外部との間のデータ通信を可能にするための、前記CPUに接続した接触用インターフェース；および

前記CPUと外部との間の無線によるデータ通信を可能にするための、前記CPUに接続した非接触用インターフェース；

から構成されるICチップ。

【請求項 2】 請求項 1 記載のICチップであって：

前記接触用インターフェースを通じて外部電子機器とデータ通信をするために、前記接触用インターフェースが外部電子機器と電気的に接続可能である；
ことを特徴とするICチップ。

【請求項 3】 請求項 2 記載のICチップであって：

前記非接触用インターフェースを通じて外部と無線データ通信をするために、前記接触用インターフェースが外部無線機器と電気的に接続可能である；
ことを特徴とするICチップ。

【請求項 4】 請求項 3 記載のICチップであって：

前記接触用インターフェースと非接触用インターフェースとが、ICチップの異なる場所に設けられている；
ことを特徴とするICチップ。

【請求項 5】 請求項 4 記載のICチップであって：

前記の外部電子機器と外部無線機器とを誤って接続することを防止するための物理的形状を有する；
ことを特徴とするICチップ。

【請求項 6】 請求項 1 記載のICチップの非接触用インターフェースと電気的に接続可能なカードであって、アンテナを有し、該アンテナが前記ICチップの非接触用インターフェースと接続することにより前記ICチップの外部との無線デ

ータ通信を可能ならしめる、ところのカード。

【請求項 7】 請求項 6 記載のカードであって、前記ICチップを挿入させることにより全体として非接触型ICカードとして機能し得る、ことを特徴とするカード。

【請求項 8】 請求項 1 記載のICチップの接触用インターフェースと電気的に接続可能な携帯端末装置であって、CPUを有し、該CPUが前記ICチップの非接触用インターフェースと接続してデータ通信することにより前記ICチップを接触型ICチップとして機能させ得る、ところの携帯端末装置。

【請求項 9】 請求項 5 記載のICチップの接触用インターフェースと電気的に接続可能な携帯端末装置であって、CPUを有し、該CPUが前記ICチップの非接触用インターフェースと接続してデータ通信することにより前記ICチップを接触型ICチップとして機能させることができ、前記ICチップの前記物理的形状に対応する物理的形状を有することにより前記ICチップの非接触用インターフェースとの接続を防止する、ことを特徴とする携帯端末装置。

【請求項 10】 請求項 8 記載の携帯端末装置であって、アンテナを有し、該アンテナが前記ICチップの非接触用インターフェースと接続することにより前記ICチップの外部との無線データ通信を可能ならしめる、ところの携帯端末装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、一般にICチップならびにそれに接続するカードおよび携帯端末装置に関し、特に1つのICチップで接触型ICカードおよび非接触型ICカードの両機能を果たしうるICチップとそのためのカードおよび携帯端末装置に関する。

【0002】

【従来の技術】

いわゆるICカードには、リーダ／ライターとの間のデータの通信の仕方によって、接触型ICカードおよび非接触型ICカードの2種類がある。図1に示すように、接触型ICカード12には、ICチップ10が内蔵されている。ICチップ10の内

部には、CPU, ROM, RAM, EEPROM(図示せず)が設けられており、情報の入出力や処理を行う。電源がなくても記憶内容を保持する不揮発性の書き込み可能な記憶素子EEPROMが必要である。接触型ICカード12の表面には電気接点14が設けられており、その接点14を通じてカードに情報を書き込んだり読み取ったりする。

【0003】

一方、図2に示すように、非接触型ICカード22に内蔵されているICチップ20内には、CPU21, ROM27, RAM23, EEPROM25から構成され情報処理等を行うマイクロプロセッサ28がある。ICチップ20内には、さらにRFインターフェース回路24が設けられている。ICチップ20は、通常コイルアンテナである内蔵アンテナ26を通して、電磁波によって外部とデータのやりとりをする。ICチップ20への電力も、アンテナ26を通じて外部から供給されるのが通常である。

【0004】

一枚のカードに接触型ICカードおよび非接触型ICカードの両機能を持たせたコンビ型ICカードやハイブリッド型ICカードが知られている。

【0005】

図1に示すように、接触型ICカード12からICチップ部分のみを抜き出して利用することにより接触型ICカード機能を小型化することが可能である。一方、非接触型ICカードでは、内蔵アンテナの小型化やスロット部分の拡大化に伴う技術的問題のためにこのような小型化は実現できていない。従って、従来、これらの両カードは用途により使い分けられており、一枚のICチップで両機能を備えるものはなかった。

【発明が解決しようとする課題】

そこで、本発明は、一枚のチップで非接触型および接触型の両機能を備えたICチップを提供し、さらにそのチップを非接触型または接触型のICカードとして都合良く機能させるためのカードおよび携帯端末装置を提供することを目的とする。

【0006】

【課題を解決するための手段】

上記の目的を達成するための本発明の一特徴に従ったICチップは、CPU； CPUと外部との間のデータ通信を可能にするための、CPUに接続した接触用インターフェース； および CPUと外部との間の無線によるデータ通信を可能にするための、CPUに接続した非接触用インターフェース； から構成される。

【0007】

本発明の他の特徴に従ったカードは、上記ICチップの非接触用インターフェースと電気的に接続可能であって、アンテナを有し、このアンテナがICチップの非接触用インターフェースと接続することによりICチップの外部との無線データ通信を可能にすることができます。

【0008】

さらに本発明の他の特徴に従った携帯端末装置は、上記ICチップの接触用インターフェースと電気的に接続可能であって、CPUを有し、そのCPUがICチップの非接触用インターフェースと接続してデータ通信することによりICチップを接触型ICチップとして機能させることができます。

【作用】

本発明の一の特徴に従ったICチップは、カードに挿入することで非接触型ICカードとしての機能を果たし、また携帯端末装置に挿入することで接触型ICカードおよび非接触型ICカードとしての両機能を果たすことができる。

【発明の実施の形態】

以下、図面を参照しながら本発明の実施の形態について詳しく説明する。図3は、本発明の実施形態に従ったICチップの一例を示す。ICチップ30は、マイクロプロセッサ32および通信回路34を有する。マイクロプロセッサ32内には、例えばCPU, ROM, RAM, EEPROM(図示せず)が設けられており、データの読み取りや書き込み等の処理が行われる。通信回路34は、接触型ICカードおよび非接触型ICカードとしての両機能を果たすための通信機能を発揮し、RFインターフェース回路(図示せず)も有している。ICチップ30にはさらに、インターフェースとして、接触用インターフェース36(IS07816)および非接触用インター

フェース38 (ISO14443) の両インターフェースが対向する辺に設けられている。

【0009】

図4に示すように、このICチップ30をカード40に挿入すると、非接触用インターフェース38がカード40内のアンテナ46に接続され、全体として非接触型ICカードとして機能することができる。そして、この状態のままで、露出している接触用インターフェース36を用いて、接触型ICカードとして機能することも可能である。

【0010】

図5に示すように、このICチップ30を携帯端末装置50に挿入すると、接触用インターフェース36がI/O回路53を介して携帯端末CPU51に接続され、ICカード30が携帯端末装置50内で接触型ICカードとして機能する。ユーザは、入出力デバイス54を利用して、ICカード30にデータを読み書きしたり、データを表示させたりすることが可能である。また、ICカード30の非接触用インターフェース38を携帯50内に設けてある非接触用アンテナ56に接続することにより、携帯端末装置50を非接触型ICカードとして機能させることも可能である。

【0011】

また、誤って非接触用インターフェース38の側を携帯端末装置50のI/O回路53側に接続しないように、ICチップの外形に所定の物理的形状（図示せず）を設け、携帯端末装置50にもそれに対応する物理的形状を設けることにより、誤った方向の挿入を防止することができる。

【発明の効果】

以上説明したように、本発明の実施の形態によれば、一枚のICチップで接触型・非接触型の両機能を果たすことができる。接続する装置を変えることで接触通信・非接触通信のどちらをメインとするかを容易に選択することができる。携帯端末装置に挿入することで、ICカード内のデータの閲覧や携帯機の通信網を利用したデータのダウンロード等が可能となる。また、アンテナ付きカードに挿入することで、非接触型ICカードとして改札機等で簡便に利用することができる。

【図面の簡単な説明】**【図1】**

一般的な接触型ICカードを示す図である。

【図2】

一般的な非接触型ICカードの内部構成を示す図である。

【図3】

本発明の実施形態に従ったICチップの一例を示す図である。

【図4】

本発明の実施形態に従ったカードの一例を示す図である。

【図5】

本発明の実施形態に従った携帯端末装置の一例を示す図である。

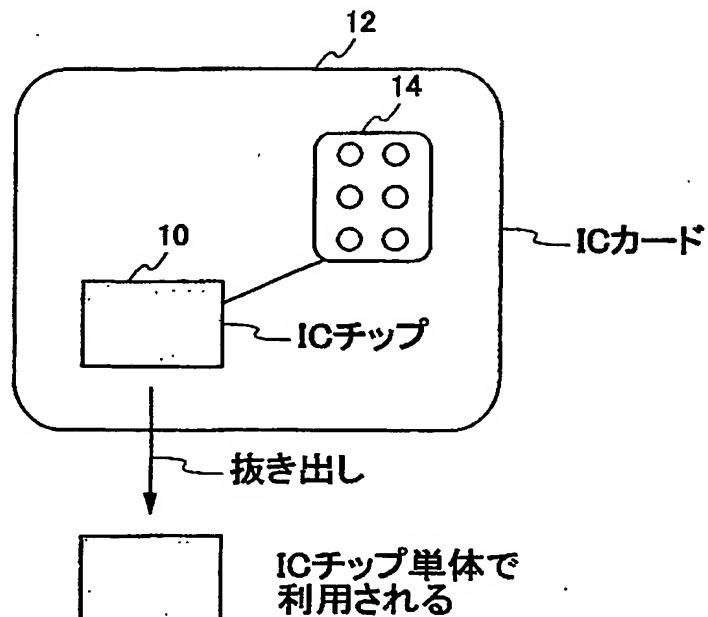
【符号の説明】

- 3 0 ICチップ
- 3 2 マイクロプロセッサ
- 3 4 通信回路
- 3 6 接触用インターフェース
- 3 8 非接触用インターフェース
- 4 0 カード
- 4 6 アンテナ
- 5 0 携帯端末装置
- 5 1 携帯端末CPU
- 5 8 非接触用アンテナ

【書類名】 図面

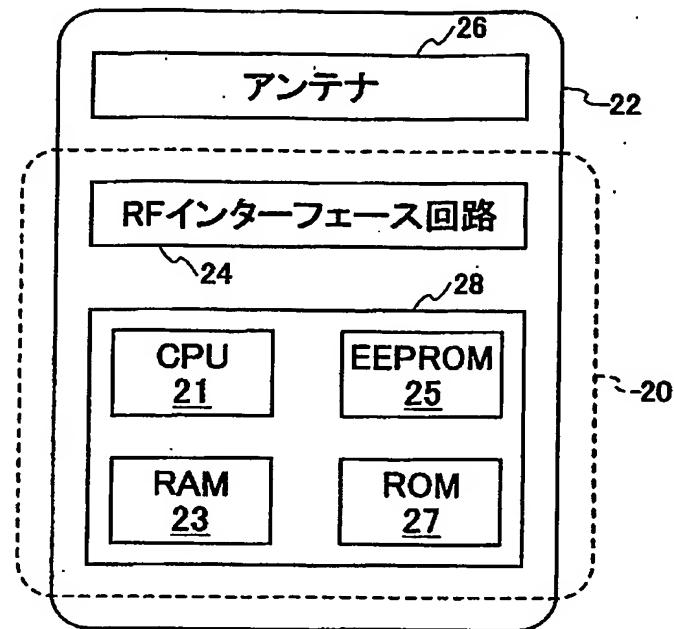
【図1】

一般的な接触型ICカードを示す図



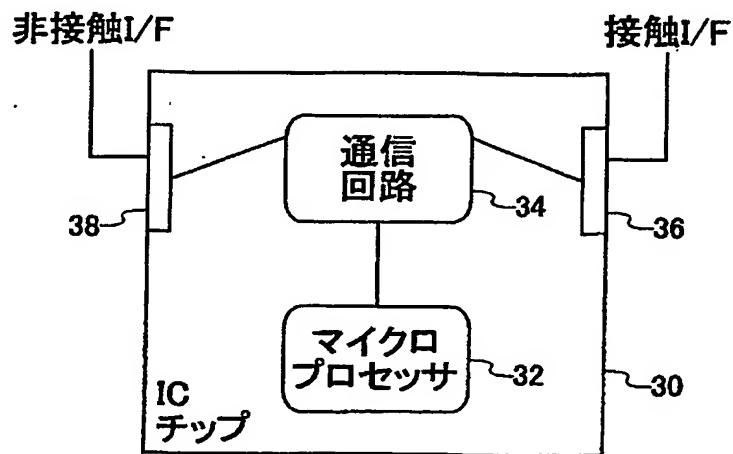
【図2】

一般的な非接触型ICカードの内部構成を示す図



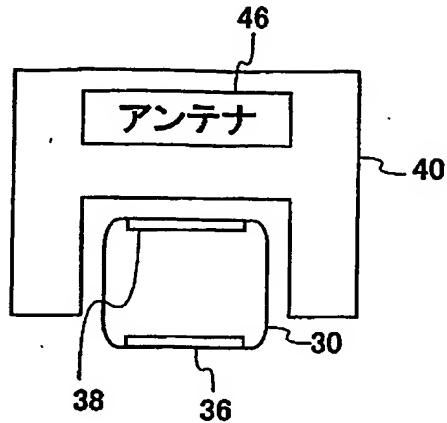
【図3】

本発明の実施形態に従ったICチップの一例を示す図



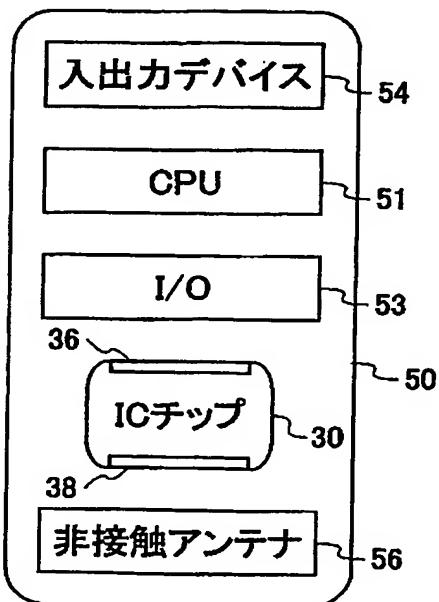
【図4】

本発明の実施形態に従ったカードの一例を示す図



【図5】

本発明の実施形態に従った携帯端末装置の一例を示す図



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 一枚のチップで非接触型および接触型の両機能を備えたICチップを提供し、さらにそのチップを非接触型または接触型のICカードとして都合良く機能させるためのカードおよび携帯端末装置を提供する。

【解決手段】 ICチップであって、CPU； CPUと外部との間のデータ通信を可能にするための、CPUに接続した接触用インターフェース；および CPUと外部との間の無線によるデータ通信を可能にするための、CPUに接続した非接触用インターフェース；から構成されるICチップ。また、ICチップの非接触用インターフェースと電気的に接続可能なカードであって、アンテナを有し、アンテナがICチップの非接触用インターフェースと接続することによりICチップの外部との無線データ通信を可能ならしめるカード。さらに、ICチップの接触用インターフェースと電気的に接続可能な携帯端末装置であって、CPUを有し、そのCPUがICチップの非接触用インターフェースと接続してデータ通信することによりICチップを接触型ICチップとして機能させ得る携帯端末装置。

【選択図】 図3

特願2002-169337

出願人履歴情報

識別番号 [592146793]

1. 変更年月日 1992年 6月12日

[変更理由] 新規登録

住 所 東京都品川区大崎4-9-2

氏 名 坂村 健

特願2002-169337

出願人履歴情報

識別番号 [392026693]

1. 変更年月日 1992年 8月21日

[変更理由] 新規登録

住 所 東京都港区虎ノ門二丁目10番1号
氏 名 エヌ・ティ・ティ移動通信網株式会社

2. 変更年月日 2000年 5月19日

[変更理由] 名称変更

住 所 東京都千代田区永田町二丁目11番1号
氏 名 株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモ

特願2002-169337

出願人履歴情報

識別番号 [502180015]

1. 変更年月日 2002年 5月20日

[変更理由]

新規登録

住所 東京都武藏野市西久保2-27-20

氏名 越塚 登